

令和3年度 障害者支援施設等における 事故報告集計・分析結果

- I 令和3年度の状況
 - 1 事故の内容
 - 2 事故の月別発生件数
 - 3 事故の内容別月別発生件数
 - (1) 骨折の月別発生件数
 - (2) 打撲の月別発生件数
 - (3) 誤薬の月別発生件数
 - (4) 無断外出の月別発生件数
 - (5) 誤嚥の月別発生件数と重症化
 - 4 骨折と打撲における受傷部位
 - 5 事故の施設別発生件数
 - 6 事故の発生事例
- II 令和3年度の重大事故
 - 1 重大事故・死亡事故の割合
 - 2 重大事故の内容
 - 3 重大事故の月別発生件数
 - 4 重大事故の施設別発生件数
- III 年度比較
 - 1 事故報告件数の年度推移
 - 2 事故の内容
- IV その他
 - 1 対象施設一覧

保健福祉部福祉局地域福祉課

I 令和3年度の状況

1. 事故の内容

表1 事故の区分 (単位:件、%)

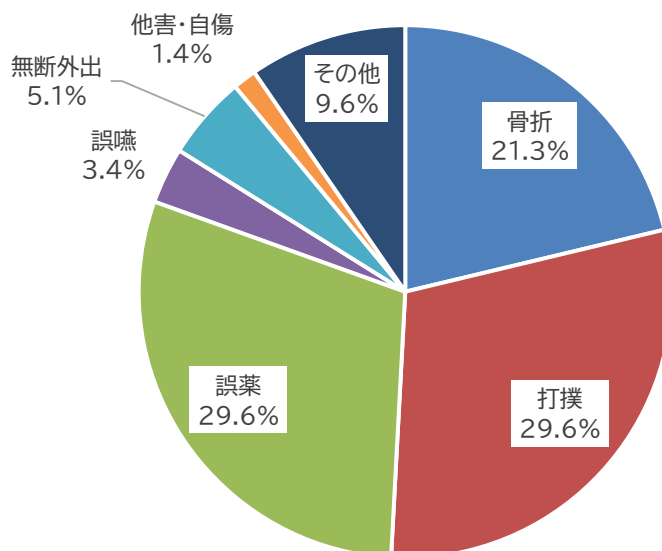
区 分	件数	構成比
骨折 ※1	388	21.3
打撲 ※2	540	29.6
誤薬	541	29.6
誤嚥 ※3	62	3.4
無断外出	93	5.1
他害・自傷	26	1.4
その他	175	9.6
合 計	1,825	100.0

※1 骨折:骨折のほか、腱断裂など全治1ヶ月以上の重傷を含む。

※2 打撲:打撲のほか、裂傷・擦過傷・切傷・刺傷などで、全治1ヶ月未満の軽傷を含む。

※3 誤嚥 : 誤嚥のほか、誤飲、誤食を含む。

グラフ1 事故の区分



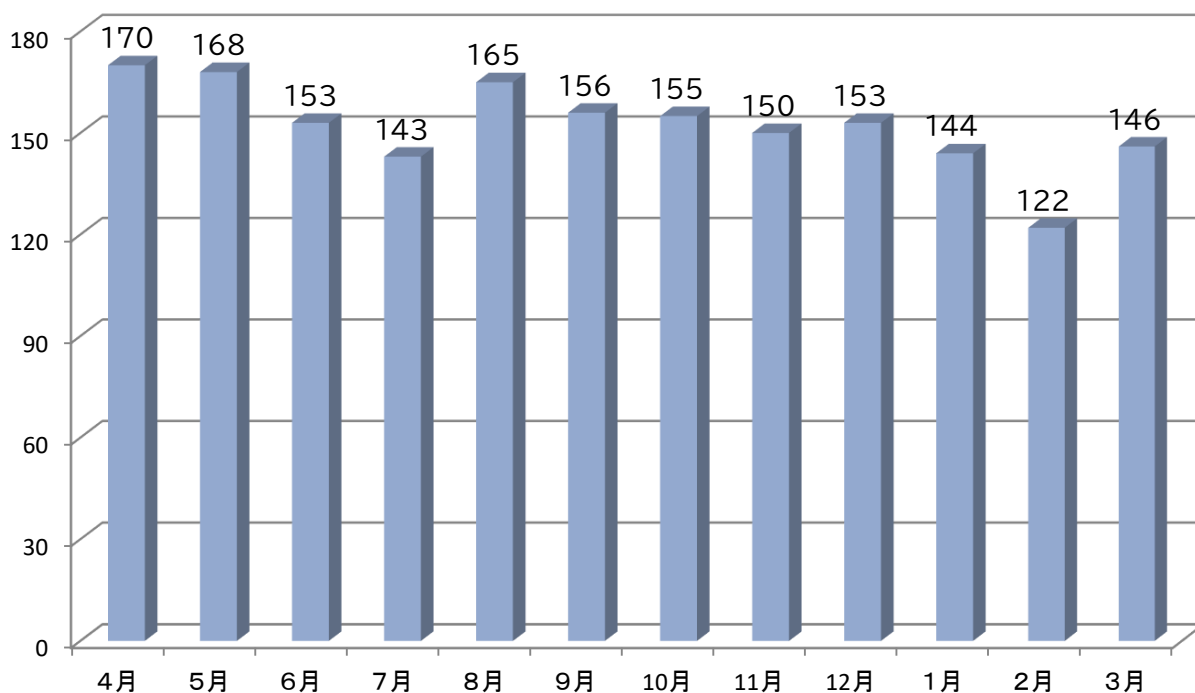
令和3年度の事故報告総数は、1,825件であり前年度(1,669件)に比べ9.3%の増加であった。事故で最も多かったのは「誤薬」の541件(29.6%)で、次いで「打撲」(29.6%)、「骨折」(21.3%)、の順となっている。

2. 事故の月別発生件数

表2 事故の月別発生件数 (単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	170	9.3
5月	168	9.2
6月	153	8.4
7月	143	7.8
8月	165	9.0
9月	156	8.5
10月	155	8.5
11月	150	8.2
12月	153	8.4
1月	144	7.9
2月	122	6.7
3月	146	8.0
合計	1,825	100.0

グラフ2 事故の月別発生件数



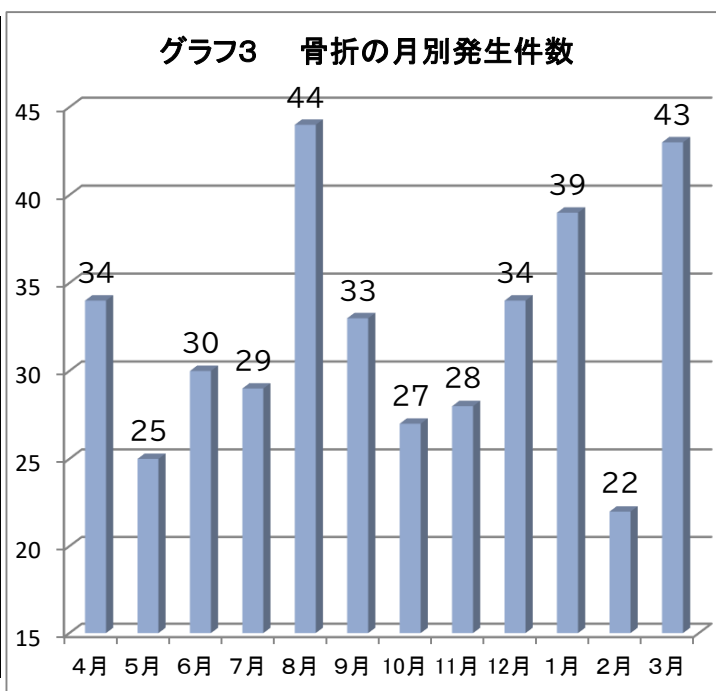
事故の月別発生件数は、4月が170件、次いで5月が168件と他の月と比べ多く発生している。

3. 事故の内容別月別発生件数

(1) 骨折の月別発生件数(表3)

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	34	8.8
5月	25	6.4
6月	30	7.7
7月	29	7.5
8月	44	11.3
9月	33	8.5
10月	27	7.0
11月	28	7.2
12月	34	8.8
1月	39	10.1
2月	22	5.7
3月	43	11.1
合計	388	100.0

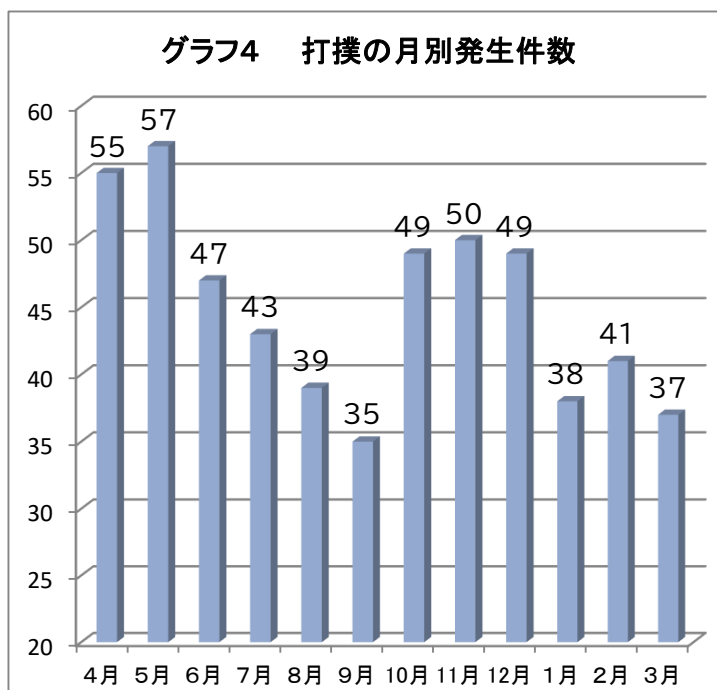


骨折の月別発生件数は、8月が44件と最も多く、2月が22件で最も少なかった。

(2) 打撲の月別発生件数(表4)

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	55	10.2
5月	57	10.6
6月	47	8.7
7月	43	8.0
8月	39	7.2
9月	35	6.5
10月	49	9.1
11月	50	9.3
12月	49	9.1
1月	38	7.0
2月	41	7.6
3月	37	6.9
合計	540	100.0

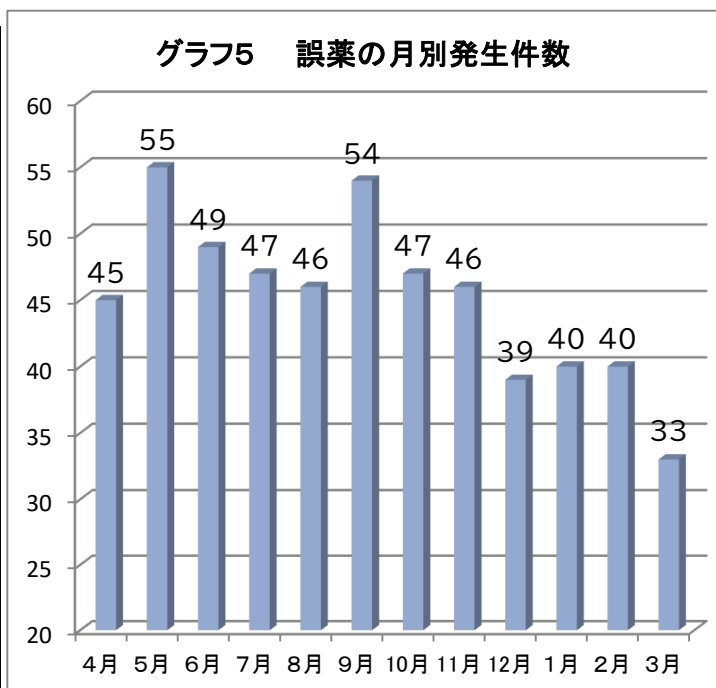


打撲は、5月が57件と最も多く、9月が35件と他の月と比べて少なかった。

(3) 誤薬の月別発生件数(表5)

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	45	8.3
5月	55	10.2
6月	49	9.1
7月	47	8.7
8月	46	8.5
9月	54	10.0
10月	47	8.7
11月	46	8.5
12月	39	7.2
1月	40	7.4
2月	40	7.4
3月	33	6.1
合計	541	100.0

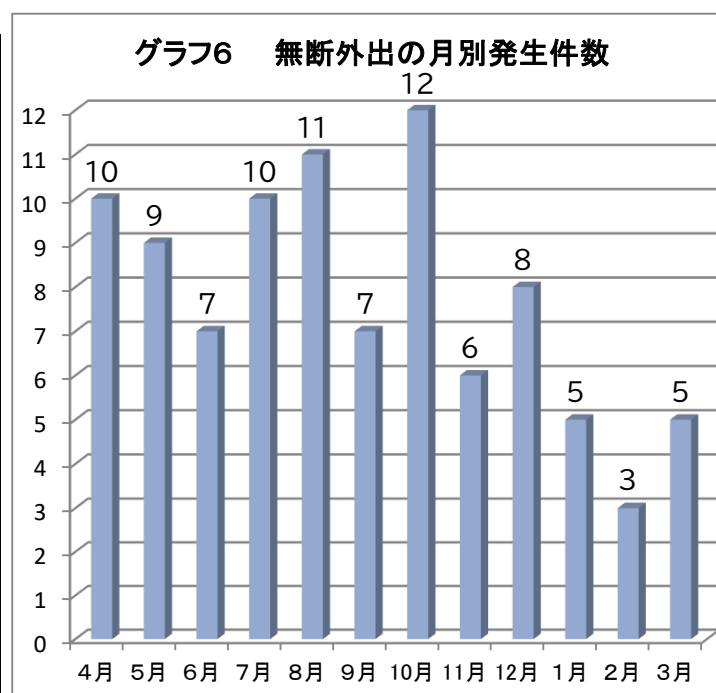


誤薬の年間発生件数は、5月が55件と最も多く、3月が33件と他の月と比べて少なかった。

(4) 無断外出の月別発生件数(表6)

(単位: 件、%)

月	件数	構成比
4月	10	10.8
5月	9	9.7
6月	7	7.5
7月	10	10.8
8月	11	11.8
9月	7	7.5
10月	12	12.9
11月	6	6.5
12月	8	8.6
1月	5	5.4
2月	3	3.2
3月	5	5.4
合計	93	100.0



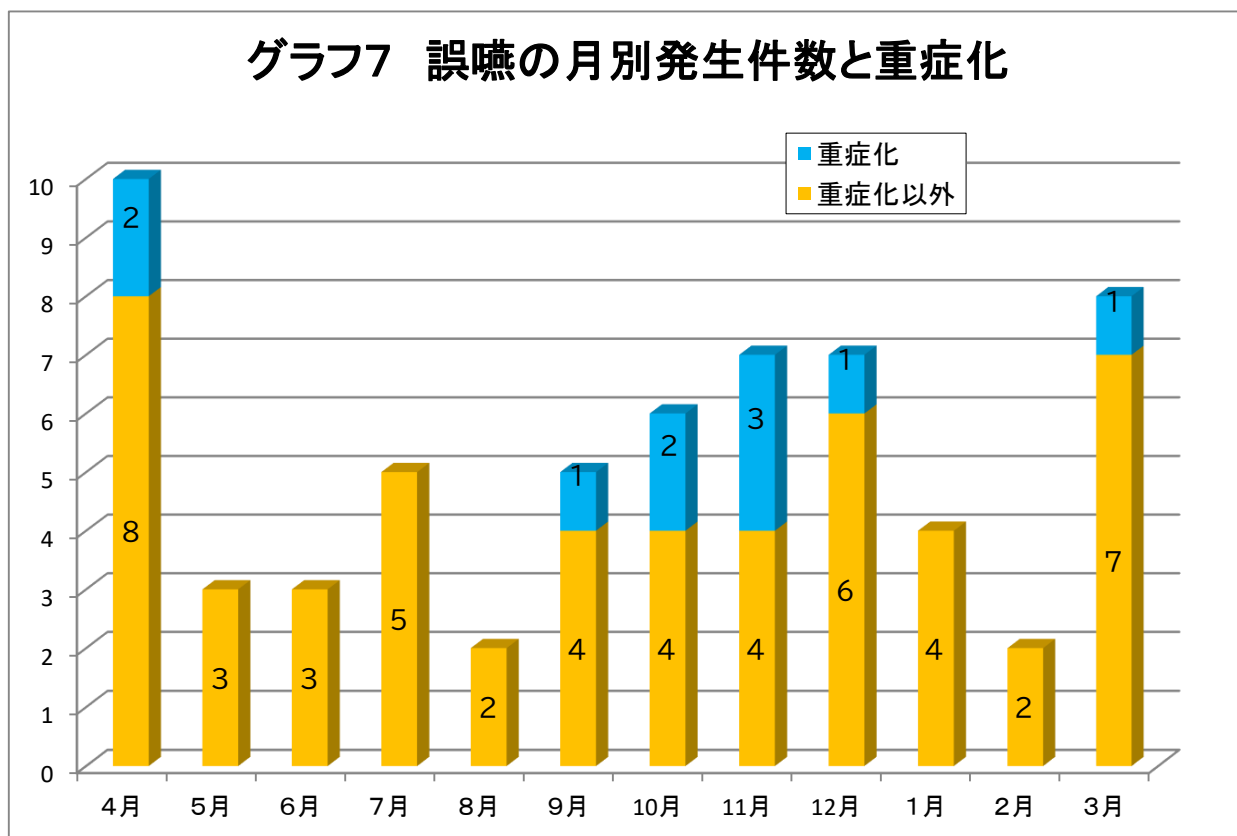
無断外出は、10月が12件と最も多く、2月が3件と少なかった。

(5) 誤嚥の月別発生件数と重症化(表7)

(単位: 件、%)

月	件数	左の内訳		
		重症化以外	重症化	重症化の割合
4月	10	8	2	20.0
5月	3	3	0	0.0
6月	3	3	0	0.0
7月	5	5	0	0.0
8月	2	2	0	0.0
9月	5	4	1	20.0
10月	6	4	2	33.3
11月	7	4	3	42.9
12月	7	6	1	14.3
1月	4	4	0	0.0
2月	2	2	0	0.0
3月	8	7	1	12.5
合計	62	52	10	16.1

※ 重症化 : 死亡や誤嚥性肺炎による入院など



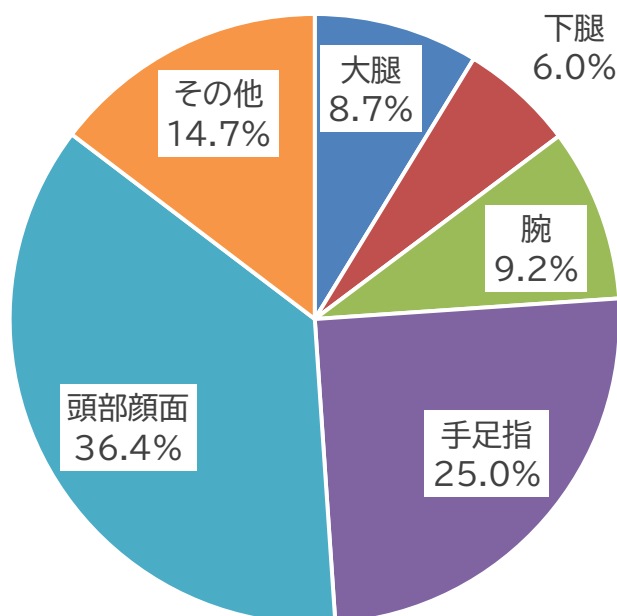
誤嚥の総数は、前年度の47件に比べ、62件と増加となっているが、重症化の割合は前年度(29.8%)に比べ、16.1%と減少した。

4. 骨折と打撲における受傷部位

表8 骨折と打撲における受傷部位 (単位:件、%)

区分	件数	構成比	左の内訳			
			骨折		打撲	
			件数	構成比	件数	構成比
大腿	81	8.7	68	17.5	13	2.4
下腿	56	6.0	30	7.7	26	4.8
腕	85	9.2	52	13.4	33	6.1
手足指	232	25.0	133	34.3	99	18.3
頭部顔面	338	36.4	17	4.4	321	59.4
その他	136	14.7	88	22.7	48	8.9
合計	928	100.0	388	100.0	540	100.0

グラフ8 骨折と打撲における受傷部位



骨折と打撲については、老人福祉施設等と異なり障害者支援施設等においては、打撲の発生件数が骨折の発生件数より多くなっている。骨折と打撲における主な部位では、障害者支援施設等では「頭部顔面」が36.4%と最も多く、次いで「手足指」が25.0%となっている。

また、骨折の受傷部位は「手足指」が34.3%と最も多く、打撲の受傷部位は「頭部顔面」が59.4%と最も多かった。

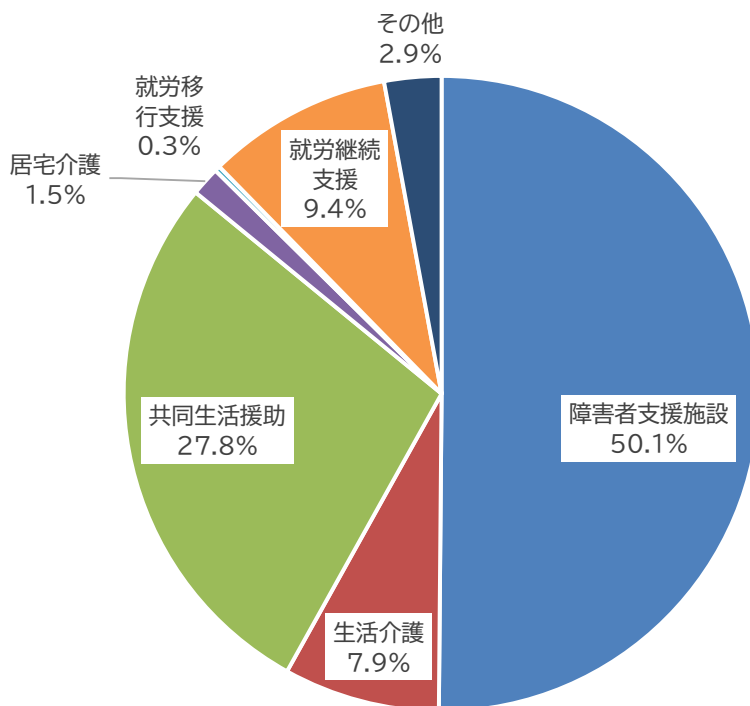
5. 事故の施設別発生件数

表9 事故の施設別発生件数

(単位:件、%)

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	915	50.1
生活介護	145	7.9
共同生活援助	508	27.8
居宅介護	27	1.5
就労移行支援	5	0.3
就労継続支援	172	9.4
その他	53	2.9
合 計	1,825	100.0

グラフ9 事故の施設別発生件数



事故の施設別発生件数は、「障害者支援施設」におけるものが50.1%(915件)で最も多く、次いで、「共同生活援助」の発生件数が、27.8%(508件)となっている。

6 事故の発生事例

(1) 骨折・打撲

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	入浴の際に右足親指に変色が見られたので、本人に確認するとベッドを蹴飛ばしたと言っている。右足親指1趾骨折
障害者支援施設	脱衣中に車椅子から転落。右脛付近や右前腕に擦過傷あり。レントゲン、CT検査の結果、脳へのダメージは確認されず。
障害者支援施設	居室内で転倒。レントゲン撮影・CT検査の結果、骨折等はなし。右前額部裂傷あり、10針縫合。後日抜糸。
障害者支援施設	ナースコールがありベッドから起き上がれないとのことで訪室。夜中に転倒し朝方まで床に横たわっていたとのこと。右大腿骨頸部骨折。
障害者支援施設	他の利用者から腕を払われバランスを崩し居室のドアにぶつかり、左手人差し指を骨折、左頬骨にひびが入った。
障害者支援施設	居室内で床に倒れていた状態で発見。右大腿骨頸部骨折。ベットより立ち上がろうとした際に転倒したと考えられる。
共同生活援助	コーヒの瓶を打ち付け、その破片で右手手のひら、指を裂傷。医療機関を受診し、左手のひら並びに右第3手指裂傷と診断。
生活介護	送迎中で雪道のマンホールの溝に落ちた振動で車椅子から落ちたため、車椅子に戻そうと上半身を抱えた際に左上腕部を骨折した。
就労継続支援B型	職員より、利用者が作業中に電動のこぎりを使って、左手小指を怪我したと報告を受け病院受診。左第2指末節骨開放性骨折と診断。
就労継続支援B型	作業中に薪割機の台と原木に薬指を挟める。変色が見られたため医療機関を受診。左手薬指末節骨骨折と診断。

(2) 誤薬・誤嚥

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	麺が禁止の利用者のメニューについて、盛り付けやトレーチェックのミスが重なり、麺のメニューを摂食した。
障害者支援施設	座薬挿肛後に排便が見られなかった場合に内服する薬を座薬前に服用し、その後座薬を挿肛。大きな体調不良はないため経過観察とした。
共同生活援助	世話人が出勤し、薬カレンダーを確認すると前日の就寝前薬が入っていて、本人に確認したところ飲み忘れが発覚

(3) 無断外出

施設区分	事 故 概 要
障害者支援施設	深夜巡回時に当該利用者の所在不明となり園内を捜索中に、警察より園外にて保護されたとの連絡があり発見される。
障害者支援施設	職員が利用者に、手指消毒について注意したところ、無断外出。すぐに見つけ、変わりなく活動に参加している。
共同生活援助	無断外出しSNSで知り合った静岡県浜松市在住の方の家にいると連絡がある。家族代理人が引き取りに行き、実家に戻る。

(4) その他

施設区分	事 故 概 要
生活介護	送迎中、右折しようとした際、路面凍結のため進行方向左側の電柱に正面衝突。同乗していた利用者5人に怪我なし。
共同生活援助	他入居者より入浴からなかなか上がらないとの連絡があり駆けつけると、浴室で倒れているのを発見。低血糖発作を起こした模様。

Ⅱ 令和元年度の重大事故

1. 重大事故、死亡事故の割合

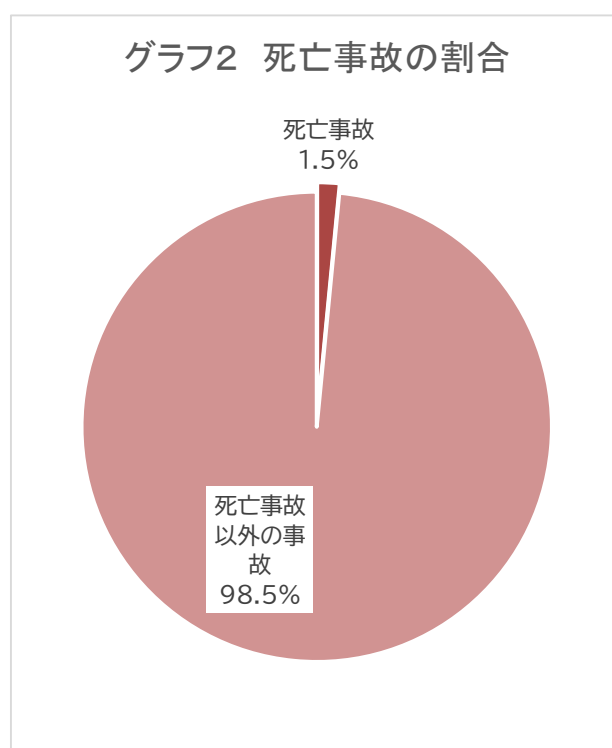
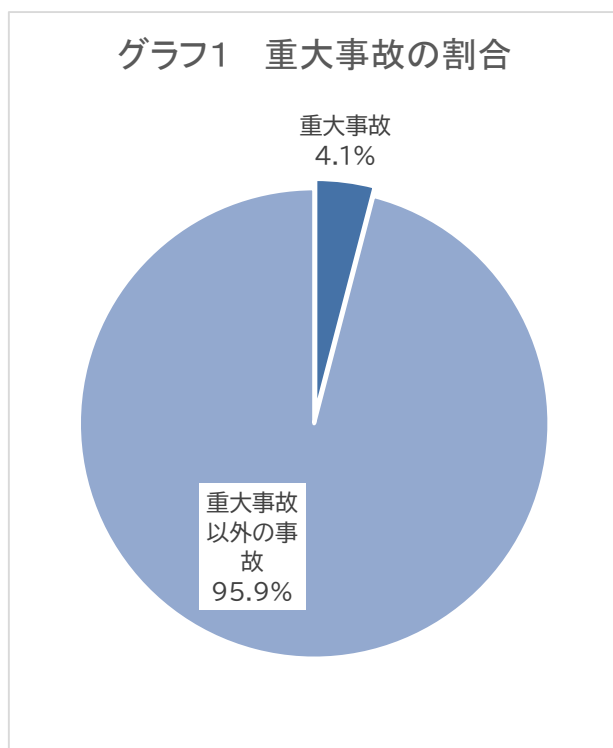
表1 重大事故の割合 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
		重大事故
重大事故以外の事故	1,751	95.9
合 計	1,825	100.0

※ 重大事故 : 死亡事故、不法行為、虐待、行方不明等

表2 死亡事故の割合 (単位: 件、%)

区 分	件数	構成比
		死亡事故
死亡事故以外の事故	1,797	98.5
合 計	1,825	100.0



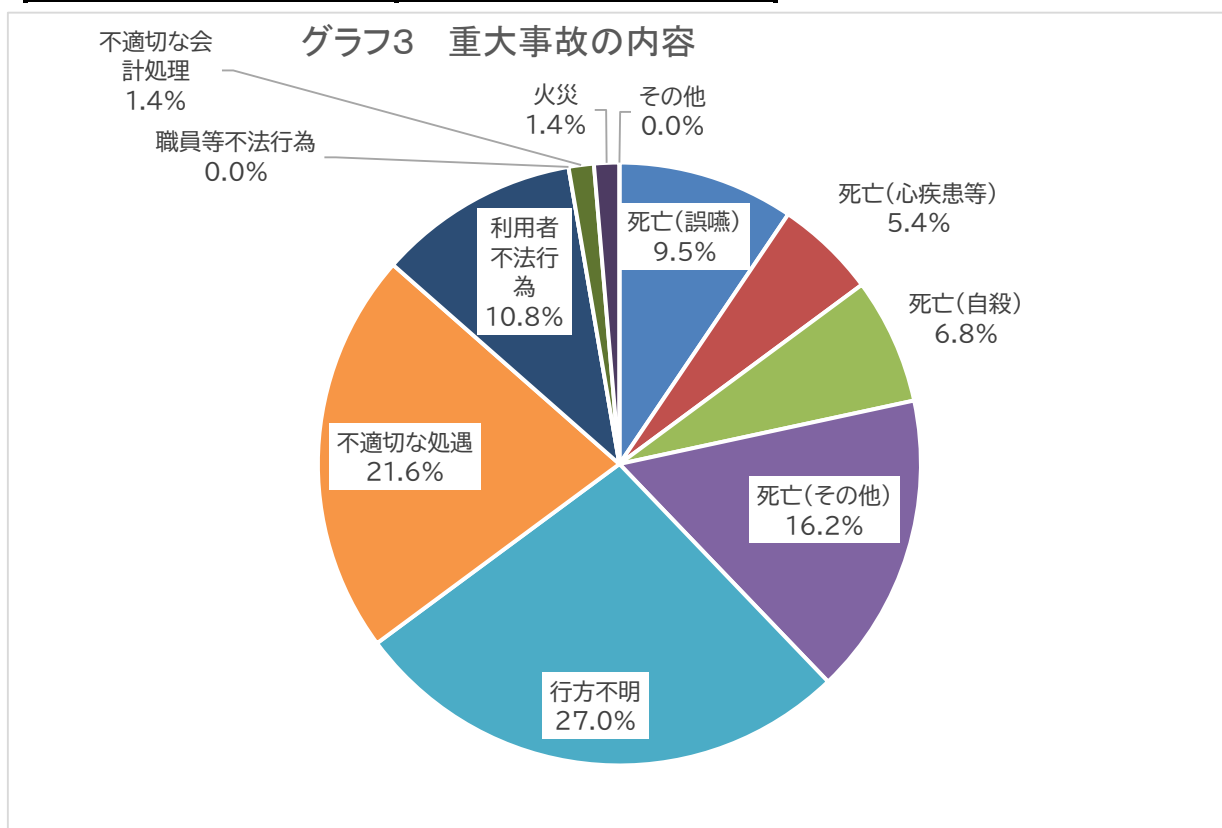
重大事故の事故報告総数は74件で、全体に占める割合は、4.1%であり、老人施設等と比べて高い割合になっている。

また、死亡事故の事故報告総数は28件で、全体に占める割合は1.5%、重大事故に占める割合は37.8%となっており、前年度(41.7%)に比べ死亡事故の割合が減少している。

2. 重大事故の内容

表3 重大事故の内容 (単位:件、%)

区分	件数	構成比
死亡(誤嚥)	7	9.5
死亡(心疾患等)	4	5.4
死亡(自殺)	5	6.8
死亡(その他)	12	16.2
行方不明	20	27.0
不適切な処遇	16	21.6
利用者不法行為	8	10.8
職員等不法行為	0	0.0
不適切な会計処理	1	1.4
火災	1	1.4
その他	0	0.0
合計	74	100.0

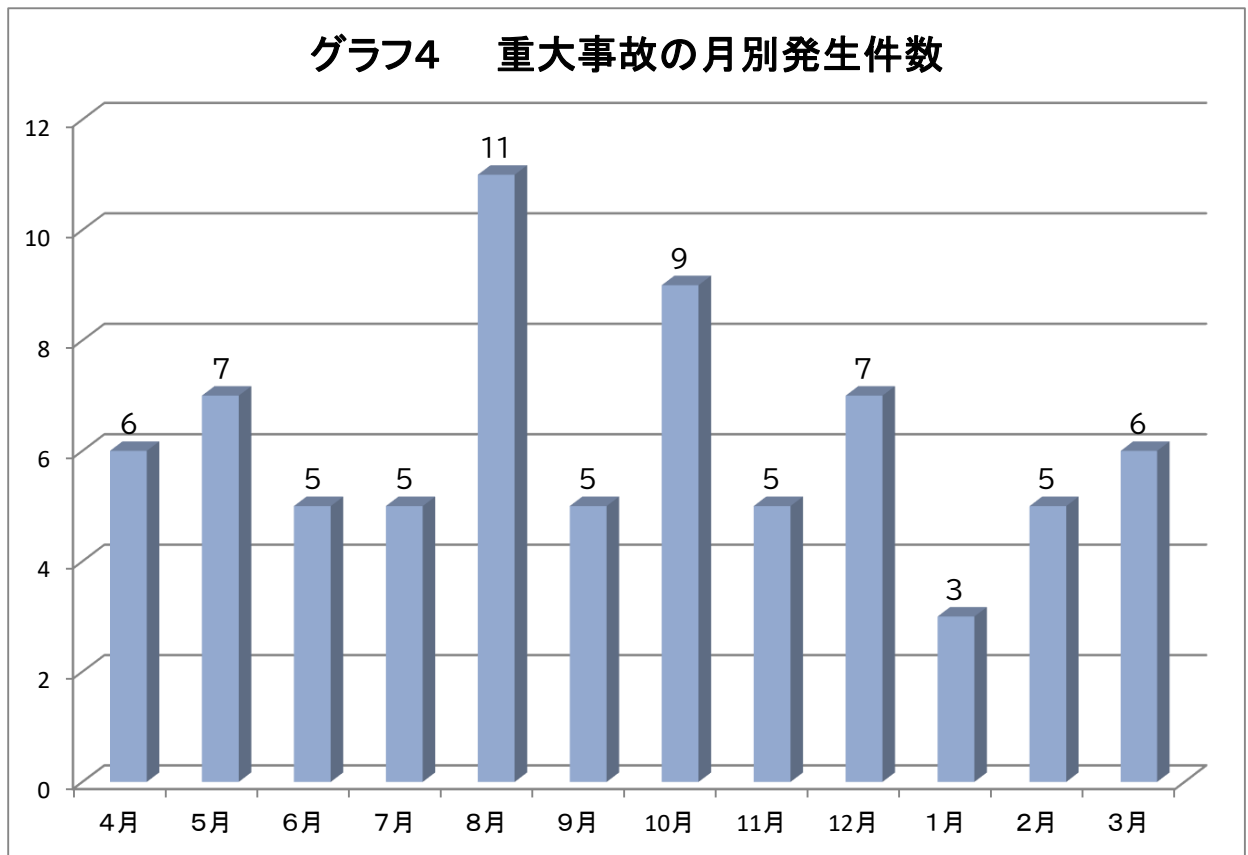


重大事故の内容については、「行方不明」が最も多く全体の27.0%(20件)を占め、次いで「不適切な処遇」が21.6%(16件)となっている。

3. 重大事故の月別発生件数

表4 重大事故の月別発生件数 (単位:件、%)

月	件数	構成比
4月	6	8.1
5月	7	9.5
6月	5	6.8
7月	5	6.8
8月	11	14.9
9月	5	6.8
10月	9	12.2
11月	5	6.8
12月	7	9.5
1月	3	4.1
2月	5	6.8
3月	6	8.1
合計	74	100.0



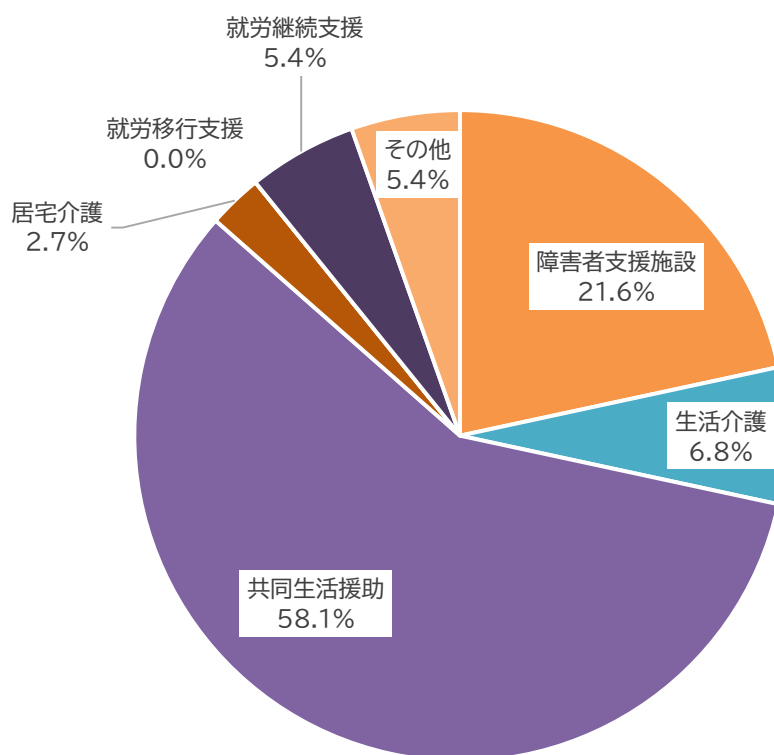
重大事故の月別発生件数は、8月が11件と最も多く、次いで10月の9件となっており、最も少ないのは1月の3件となっている。

4. 重大事故の施設別発生件数

表5 重大事故の施設別発生件数 (単位:件、%)

区 分	件数	構成比
障害者支援施設	16	21.6
生活介護	5	6.8
共同生活援助	43	58.1
居宅介護	2	2.7
就労移行支援	0	0.0
就労継続支援	4	5.4
その他	4	5.4
合 計	74	100.0

グラフ5 重大事故の施設別発生件数



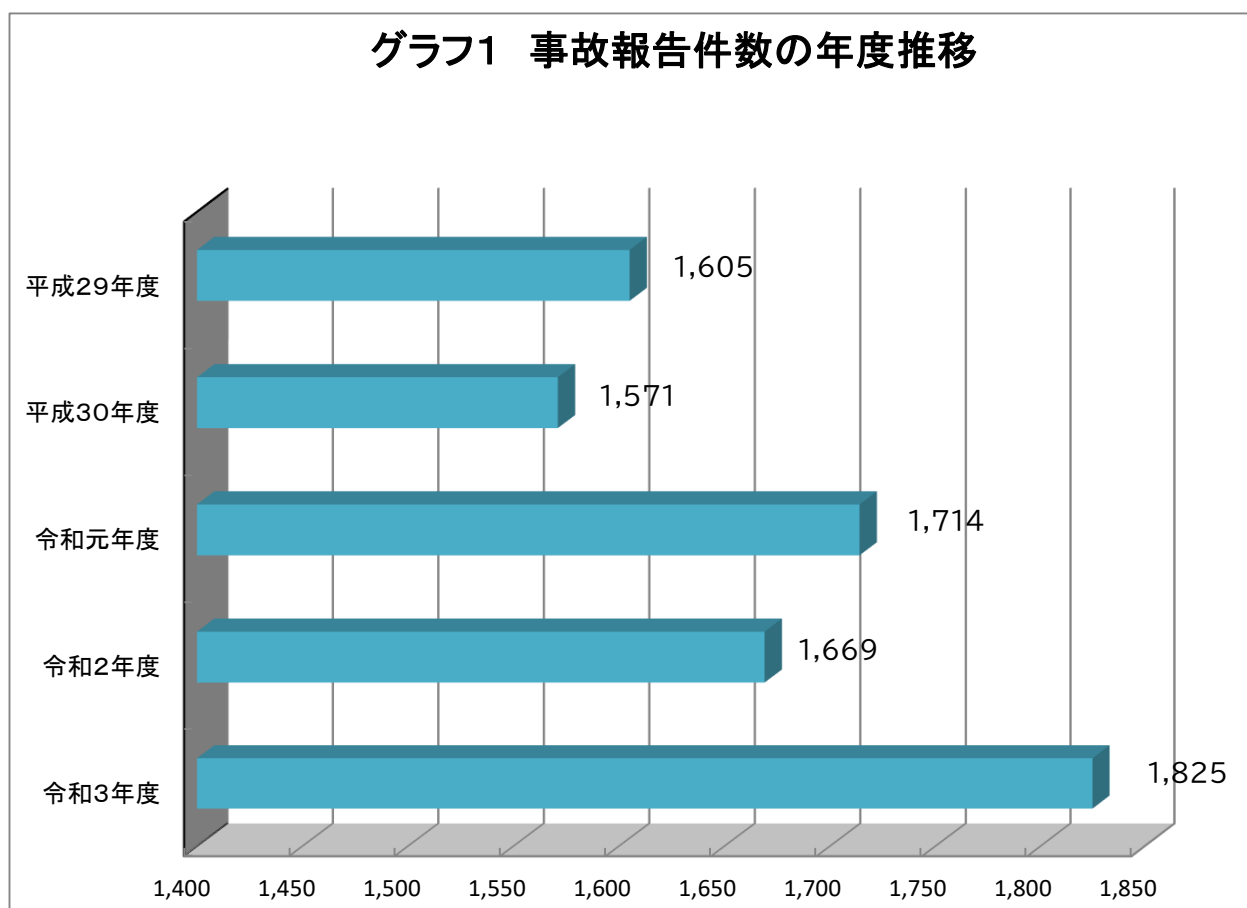
重大事故の施設別発生件数は、「共同生活援助」が43件(58.1%)、「障害者支援施設」が16件(21.6%)と多く、全体の8割近くを占めている。

Ⅲ 年度比較

1. 事故報告件数の年度推移

表1 事故報告件数 (単位:件、%)

区 分	件数	対前年比
令和3年度	1,825	109.3%
令和2年度	1,669	97.4%
令和元年度	1,714	109.1%
平成30年度	1,571	97.9%
平成29年度	1,605	117.2%



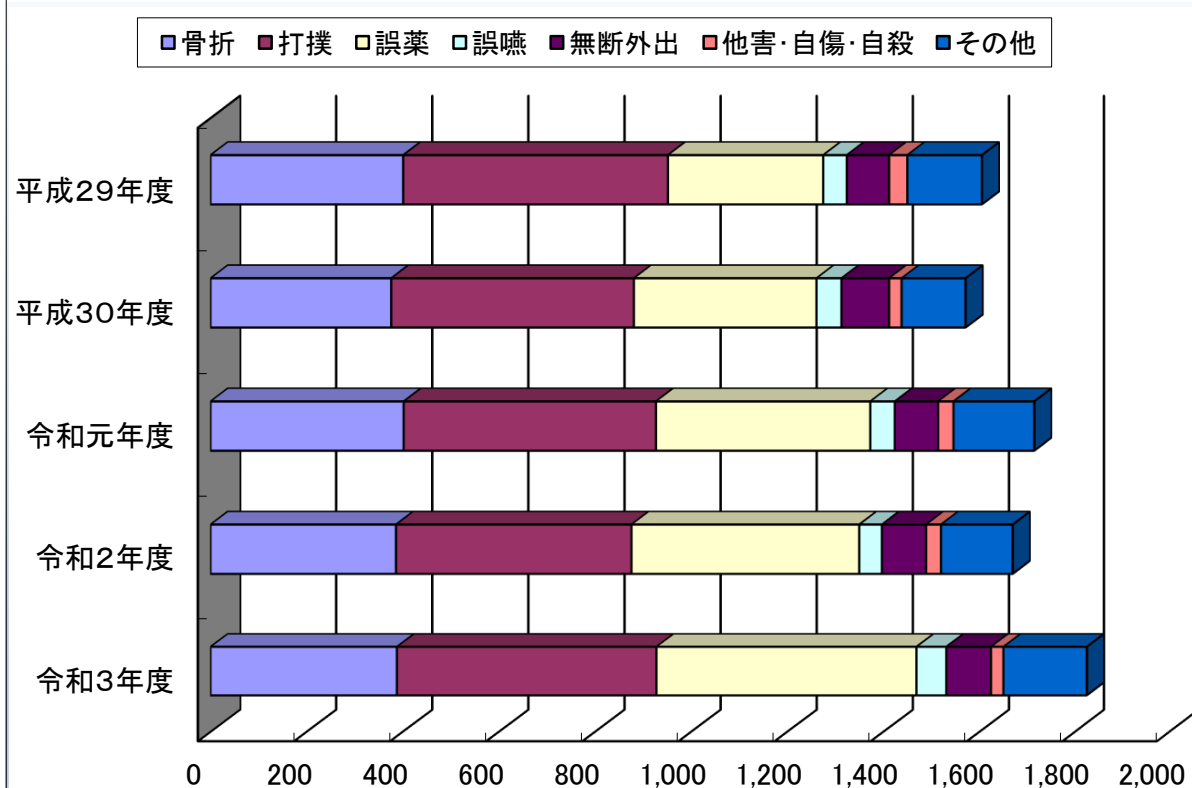
過去5年間増加傾向で、令和2年度から令和3年度では9.3%の増加となった。増加傾向の主な要因は、施設・事業所等(障害者支援施設を除く)の増加等による影響が考えられるものの、事故件数の増加率の方が上回っている。

2. 事故の内容

表2 事故内容の年度推移 (単位: 件)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
骨折	401	376	402	386	388
打撲	551	505	525	490	540
誤薬	323	380	446	474	541
誤嚥	49	52	51	47	62
無断外出	88	99	90	92	93
他害・自傷・自殺	38	26	32	31	26
その他	155	133	168	149	175
合計	1,605	1,571	1,714	1,669	1,825

グラフ2 事故内容の年度推移



令和3年度の事故の内容を見ると、令和2年度と比べて、誤薬と打撲が前年と比較して特に増加している。

IV その他

1. 対象施設一覧

居宅介護
重度訪問介護
同行援護
行動援護
療養介護
生活介護
短期入所
重度障害者等包括支援
自立訓練(機能訓練)
自立訓練(生活訓練)
就労移行支援
就労継続支援A型
就労継続支援B型
共同生活援助
障害者支援施設
一般相談支援
特定相談支援
移動支援
地域活動支援センター
福祉ホーム
盲人ホーム
その他